

第3回検討会においてご議論いただきたい点

- 保健師及び助産師ワーキンググループの検討の前提となる将来を担う保健師及び助産師に求められる能力は何か。
- 保健師及び助産師の基礎教育における教育内容の見直しの方向性をどのようにするか。
- 保健師及び助産師ワーキンググループにおける「検討上の留意事項」は何か。

保健師ワーキンググループにおける検討事項（案）

※ 将来を担う保健師に求められる能力として、以下の能力を強化することを前提として検討する。

- a. 対象者個別の問題を把握し、地域社会（集団）の課題としても捉え直し、双方に予防的に介入できる能力
- b. 対象集団の顕在的・潜在的問題を把握し、解決に向けて対応策を講じる能力
- c. 課題の解決に向けて、不足する資源を創出し、対象者の組織化を図り、それらを育成する能力
- d. 少子高齢化を踏まえ、新たな健康課題に取り組み、解決に向けて対応策を講じる能力

1. 検討事項

(1) 卒業時の到達目標

(2) 教育内容

- ① 充実すべき教育内容及び留意すべき点
- ② 整理すべき教育内容及び留意すべき点

(3) 教育方法

- ① 講義・演習において工夫すべき点
- ② 実習において留意すべき点

(4) 教育体制・教育環境

- ① 教員
- ② 実習指導者
- ③ 教育環境

※検討会第4回以降にご議論いただき、ワーキンググループでの検討における留意事項を整理

2. 検討上の留意事項

※ 見直しの方向性は、以下のとおりとする。

基本的には、保健師助産師看護師学校養成所指定規則上の教育内容の枠組み（“〇〇学”等）を維持して見直しを行っていく。

（１）卒業時の到達目標について

※ 免許取得前に習得すべきもの及び到達すべき水準を十分に吟味し検討する。

※ 教育実態を踏まえた目標の設定を検討する。

（２）教育内容について

※ 教育内容と教育方法とを併せて検討する。

① 充実すべき教育内容及び留意すべき点

a. ICT リテラシーを高める必要性

② 整理すべき教育内容及び留意すべき点

※ 免許取得前に習得すべきもの及び到達すべき水準を十分に吟味し検討する。

(3) 教育方法について

※ 教育内容と教育方法とを併せて検討する。

※ 教育効果の評価の重要性を念頭に置いて検討する。

① 講義・演習において工夫すべき点

- a. シミュレーション教育の活用
- b. アクティブラーニング等の教育方法の活用
- c. ICT の活用

② 実習において留意すべき点

※ 免許取得前に習得すべきもの及び到達すべき水準を十分に吟味し検討する。

- a. 健康危機管理等、学ぶ内容の特性上、見学実習とならざるを得ない点も勘案し、保健師としての実践力が身につくような演習・実習の検討
- b. 継続した保健指導を実施できる公衆衛生看護学実習の検討
- c. 様々な場における実習の展開

(4) 教育体制・教育環境について

① 教員

② 実習指導者

③ 教育環境

助産師ワーキンググループにおける検討事項（案）

※ 将来を担う助産師に求められる能力として、以下の能力を強化することを前提として検討する。

- a. 対象者（女性、母親・子ども・父親、家族）の社会的背景や生活に即したニーズを捉える能力
- b. 子育て世代を包括的に支援する能力
- c. リプロダクティブヘルスに関わる課題を解決できる能力

1. 検討事項

(1) 卒業時の到達目標

(2) 教育内容

- ① 充実すべき教育内容及び留意すべき点
- ② 整理すべき教育内容及び留意すべき点

(3) 教育方法

- ① 講義・演習において工夫すべき点
- ② 実習において留意すべき点

(4) 教育体制・教育環境

- ① 教員
- ② 実習指導者
- ③ 教育環境

※検討会第4回以降にご議論いただき、ワーキンググループでの検討における留意事項を整理

2. 検討上の留意事項

※ 見直しの方向性は、以下のとおりとする。

基本的には、保健師助産師看護師学校養成所指定規則上の教育内容の枠組み（“〇〇学”等）を維持して見直しを行っていく。

（１）卒業時の到達目標について

※ 免許取得前に習得すべきもの及び到達すべき水準を十分に吟味し検討する。

※ 教育実態を踏まえた目標の設定を検討する。

（２）教育内容について

※ 教育内容と教育方法とを併せて検討する。

① 充実すべき教育内容及び留意すべき点

- a. ICT リテラシーを高める必要性

② 整理すべき教育内容及び留意すべき点

※ 免許取得前に習得すべきもの及び到達すべき水準を十分に吟味し検討する。

(3) 教育方法について

※ 教育内容と教育方法とを併せて検討する。

※ 教育効果の評価の重要性を念頭に置いて検討する。

① 講義・演習において工夫すべき点

- a. シミュレーション教育の活用
- b. アクティブラーニング等の教育方法の活用
- c. ICT の活用

② 実習において留意すべき点

※ 免許取得前に習得すべきもの及び到達すべき水準を十分に吟味し検討する。

(4) 教育体制・教育環境について

① 教員

② 実習指導者

③ 教育環境